

谷 一夫

「やっぱり!」

9月9日、昨年の政治資金が2年連続で減少したことが報じられた。ところが企業から自民党の政治団体への寄付が軒並み激減する中、なぜか寄付金を増額している製薬会社が多いのだそう。しかも目立つ大口献金を減らし、その分を小口に分散して増やすなど、不自然な動きも目立つという。(中日新聞)

「やっぱりなあ」と思っていたら、その翌日、大阪の保険医協会の調査で、日本の薬価が欧米に比べ2~3倍にもなることが明らかになったという記事が掲載された。米国で開発され日本で販売されているトリルダンという薬などは、英国に比べ、なんと11.1倍というから驚く。国民医療費に占める薬品費の割合は3割近くに達し、諸外国に比べ非常に高いため「薬づけ」などの批判を受けているが、薬品の値段がこれだけ違うと比較してもあまり意味がないように思う。ついでに言えば医療費のほうもぜひ調べてほしいものだ。なにしろアメリカでICUという重症病室に入ると、部屋代だけで1日25万円もするそうである。

日本の薬価はどのようにして決められているのか、私たち医師にもよく分からない。厚生省のお役人と薬のメーカーが相談して決められていることは間違いないのだが、価格が決定された根拠はいっさい明らかにされないのである。この二つの新聞記事を並べてみると、あらためて「やっぱりなあ」と情けない気持ちにつつまれる。

(谷医院院長)

この度、一宮市内のとしよりの家及びデイサービスセンター・アウン・市民病院・今伊勢分院の各窓口へ、当センターのチラシを置いていただけることになりました。多くの皆さんに知っていただきたき会の活動が少しずつ広がっていくことを願っています。

痴人の姑を普通の人としてかわり、受けとめられたらどんなにかいいでしょう。

でも、受けとめる側の人格はどこまで耐えればいいのか。相手がボケと想っても冷静ではいられません。こんなお手紙を前後して二人の方からいただきました。

この方々の苦悩が伝わってきます。私達は、痴呆になられたお年寄りにも命有る限り人らしく生き抜いてほしい、とよく言います。間違っていない言葉ですが、難しい言葉です。「他人事だから言える」「一緒に住んだことがない人には分らない」と、よくお叱りを受けます。関わっておられる方の悪戦苦闘は承知をしているものの、その方の立場にはなれないということでしょう。そうだと思います。

介護者は疲れきっておられます。誰が看るのか、同居するののかというこの前に、痴呆について考えたいと思います。

そうでなければ誰が看ても状況は同じでしょう。自分があったらどうしてほしいか。その人がつちかかって来られた人生は大事なものである筈です。

痴呆は病理ではなく生理なのだ。最近早川先生のお話から気がつきました。先生「安心してボケて下さい」という安心のメッセージをいただいて、ほっとした矢先の事でした。



11月の定例会は

11月7日(月) 午前10時~11時30分 思いやり会館

この日は、ケアはお休みです。事務所も午前中お休みです。利用会員さんご承知下さい。協力会員さんは必ず出席下さい。



フリーマーケットに出店します

ご協力ください

11月20日(日)に一宮競輪場で行われますリサイクルフェスティバルのフリーマーケットに出店します

ご家庭に眠っています不用品がございましたらご協力下さい。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

運営資金にしたいと思っていますので、よろしくお願い致します。担当(佐藤・安福)

高齢者の為の

シリーズ・ちょっと一品

サンマの幽庵焼き

秋の味覚、サンマは栄養価も高く貧血予防のビタミンもたっぷり

◆材料(2人分)

サンマ	2尾	大根	50g	
A	醤油	大さじ 1.5	醤油	少々
	みりん	大さじ 1.5	菊の葉	2枚
	酒	大さじ 1		
	柚子輪切	1/4個		

◆作り方

- 1) サンマは頭を落とし、腸わたを抜いて手早く洗って2つに切る。
- 2) ①をAに1時間程つけて味をしみこませる。
- 3) ②のつけ汁を切って、魚焼き器かオーブンで焼く。
- 4) 焼けたサンマを器に盛り、菊の葉を敷き、おろし大根をたっぷり添える。

☆季節の柿なます等一品加えて食卓に彩りを